

## 芳賀の水物語

-4-

### 芳賀の地形と水利用



#### 8. 農業が発展

これらの用水整備によって農家の人たちは、用水をたくさん安心して使えるようになりました。耕作地は大幅に増え、水田が増加したほか、従来の養蚕から牛・豚を飼育する酪農・畜産やハウレンソウ、キャベツ、サトイモ、ダイコンなどの野菜栽培に転換し、近年ではバラや野菜のハウス栽培にまで発展し、今までよりたくさん収穫できるようになりました。

#### 9. 芳賀地区の生活用水

##### (1) 前橋市の水道水は？

市の水道は、地下水を水源とした井戸水を浄水した水と、県央水道用水供給事業により供給されている水道用水（利根川の水を浄化）が供給されています。その利用率は50対50となっています。

##### (2) 前橋の井戸水とは？

市内には、地下水を水源とする浄水場が36か所あります。各浄水場は、付近の井戸（平均深度約120m）より地下水を揚水し、次亜塩素酸ナトリウムを注入することで滅菌処理し配水池に貯水した後、各家庭へ配水しています。水源となる

井戸の本数は73本あります。市の浄水場は、比較的北部にあります。その理由は、北部は標高が高く、水の性質を利用して効率良く給水するためと、水質が良いために北部には浄水場が多くあります。

##### (3) 利根川の水

市では、前橋市全域への給水や生活様式の高高度による水需要の増加、工業用水・事業用水の増加、井戸の取水量の低下、水質の変化などに対応するため、県央水道からの受水をしています。

##### (4) 県央水道

群馬県で運営する水道用水供給事業で、利根川の表流水を沼田市岩本から引水している群馬用水から導水しています。県央第一水道は、その水を北群馬郡榛東村にある浄水場において、急速濾過方式できれいな水にして前橋市・高崎市・箕郷町・吉岡町・榛東村に昭和五十八年から配水しています。前橋市では青梨子受水場と総社受水場の2か所を受水しています。県央第二水道は、渋川市箱

田にある浄水場において急速濾過方式できれいな水にして前橋市・渋川市・桐生市・伊勢崎市・玉村町などに平成十年から配水しています。そして嶺・小坂子・荻窪・富田受水場の4か所を受水しています。

##### (5) 芳賀の水源

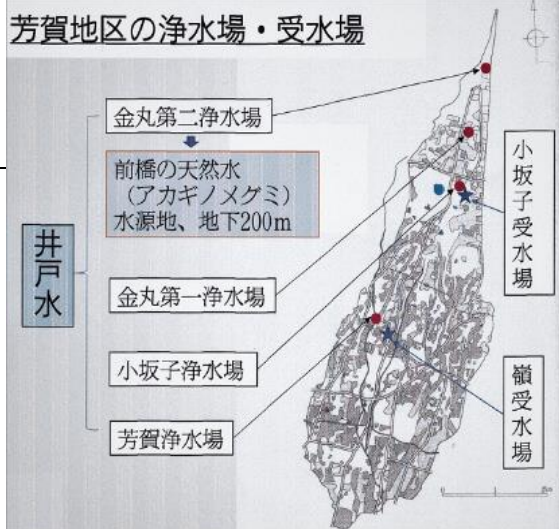
芳賀地区には水源となる井戸が10本あり、その水を滅菌処理する浄水場は4か所です（金丸第一・第二・小坂子・芳賀）。金丸の井戸は特に深度が200mと深く、その水は「前橋の美味しい天然水」として商品化されています。

##### (6) 芳賀地区の水道水

私たちの住む芳賀地区の水道水は、水道管の施設系統により次の3種類に分かれています。

- A 芳賀の井戸水
  - B 県央水100%
  - C AとBの混合水
- 井戸水は地下水、県央水は利根川の表流水に水源を求めていることから、浄水方法は異なっていますが、水道水としての水質や味については、違いはありません。
- （おわり）  
芳賀地区生涯学習奨励員  
連絡協議会

芳賀地区の浄水場・受水場



### 7月の主な行事予定

7月14日（火）芳賀公民館運営推進委員会

（芳賀公民館ホール）

